

## ○第5回分 意見・質問等とりまとめ

## 資料4

会議 回	議事等	番号	意見・感想等 青文字は市教育委員会事務局の見解
5	その他	1	<p>学校立地の検討</p> <p>教育委員会の試算で費用比較を考えると、全市で1校とした場合は総事業費68.6億円＋土地等経費、提言のように10年後に全市で2校とした場合は約80億円～100億円の経費が必要であり、全市で3校とした場合は約112億円～125億円もの経費が必要となります。10年後に2校や3校にした場合、80億円～125億円の経費が20年で償却されてしまう。経費のみを考えれば、10年後程度の時期に1校とすることがベストと考えられます。</p> <p>また、学校は地域に根差した施設であることから考えても、20年という期間で廃校となる可能性のある学校に地域の人々が愛着を感じるであろうか疑問に思えます。</p> <p>第3次十日町市総合計画前期基本計画（案）の基本方針別の個別施策7では、「十日町市立中学校のあり方検討委員会の提言に基づき」との記載が3か所に記載されています。しかし、各自治組織への聞き取りや研究会、そして本プロジェクトでの再協議を行った結果として1校も十分考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>→多角的な視点からの総合的な見解をお示しいただきました。今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
5	その他	2	<p>学校立地の検討</p> <p>立地場所の検討として第4回の通学条件・方法の検討でも議論されたように、飯山線・北越急行の鉄道、路線バス、そしてスクールバスの活用によって、一部を除いては1時間程度の通学時間で可能との見解が出ています。</p> <p>今回のグループワークで高規格道路の十日町インター付近や高島付近という意見もありましたが、果たして10年後に高規格道路がそこまで完成しているか非常に疑問です。また、十日町高校や十日町総合高校の跡地利用にも言及がありましたが、そもそも高等学校は県の主管ですので県との調整が必要です。南中学校は登校の利便性に疑問がありますし、十日町中学校は面積的に増やせないし土砂災害の危険性も考えられます。サテライト校との意見もありましたが、教員配置等の問題があると考えられます。</p> <p>→上記1と同様に多角的な視点からのご意見であり、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
5	その他	3	<p>学校立地の候補地</p> <p>公共交通の利便性や市街地の活性化等の観点から、駅西地区、西本町1丁目の西小学校付近が、博物館・郷土植物園・遺跡広場・情報館・総合体育館・緑道が整備され、旧博物館跡地や農振農用地でない下島方面への用地拡大も期待できます。また、都市計画上也文教ゾーンに位置付けられ、基礎体力維持のため十日町駅から西中央通り線、本町西線とある程度の徒歩も必要です。</p> <p>小学校の再編も視野に入れ、上記のとおり西小学校付近を有力候補地としていただきたい。</p> <p>→ご指摘のように西小学校付近は交通の便や他の文教施設の利用といった面から有効な場所の一つであると考えます。今後、他の候補地等の条件も考慮し、前回お示ししました評価基準等をもとに、客観的・総合的に判断してまいりたいと考えています。</p>